

【島のくらしの情報】

甑島列島（上甑島、中甑島、下甑島）

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<p>○島には、水産業をはじめとした第一次産業従事者と観光などのサービス業従事者が多くいます。 ○現在、老人福祉施設の職員や、ホテル従業員が求められています。</p> <p>○都市圏からの移住者を対象として地元と連携して特産品等の開発を行う地域おこし協力隊の募集も行っています。 ●地域おこし協力隊のお問い合わせ：地域政策課 電話0996-23-5111</p> <p>○甑島の診療所で勤務する看護師を募集しています。 ●お問い合わせ：総務課 電話0996-23-5111</p>								
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<p>○島内には公営住宅（305戸）が整備されています。家賃は収入に応じて変わります。 ○民間の空き家がありますが、賃貸等につきましては、家主もしくは管理人と交渉いただくことになります。 ●お問い合わせ：各支所地域振興課</p> <table border="0" style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>里支所</td> <td>電話09969-3-2311</td> </tr> <tr> <td>上甑支所</td> <td>電話09969-2-0001</td> </tr> <tr> <td>下甑支所</td> <td>電話09969-7-0311</td> </tr> <tr> <td>鹿島支所</td> <td>電話09969-4-2211</td> </tr> </table>	里支所	電話09969-3-2311	上甑支所	電話09969-2-0001	下甑支所	電話09969-7-0311	鹿島支所	電話09969-4-2211
里支所	電話09969-3-2311								
上甑支所	電話09969-2-0001								
下甑支所	電話09969-7-0311								
鹿島支所	電話09969-4-2211								
<p>③医療環境の状況</p>	<p>○上甑島：診療所2・民間医院1、下甑島：診療所3 ○医師は5名、看護師が26名常勤し、各地域の住民の健康を守っています。 ○歯科医師は上甑島、下甑島各1名。 ○急患は県のヘリコプターや船などで本土の総合病院へ運んでいます。 ○妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となるので市では妊産婦の方の負担軽減のため、海上運賃などの補助を行っています。 ●お問い合わせ：市民健康課 電話0996-22-8848 FAX0996-22-8038</p>								

④福祉環境の状況	<p>各種福祉関連施設は以下のとおりです。</p> <p>○上甑島 里 特別養護老人ホーム1 居宅介護支援事業所1 生活支援ハウス1 訪問介護事業所1 デイサービス1 グループホーム1</p> <p>上甑 特別養護老人ホーム1 デイサービス1</p> <p>○下甑島 鹿島 特別養護老人ホーム1 生活支援ハウス1</p> <p>下甑 特別養護老人ホーム1 養護老人ホーム1 居宅介護支援事業所1 訪問介護事業所1 デイサービス1 グループホーム1</p>
⑤教育環境の状況	<p>学校設置状況は以下のとおりです。</p> <p>○上甑島 里 小学校1 中学校1</p> <p>上甑 小学校1 中学校1</p> <p>○下甑島 鹿島 小学校1 中学校(休校)</p> <p>下甑 小学校2 中学校2</p> <p>※鹿島の小学校では、山村留学の一環として、ウミネコ留学を実施しています。</p>
⑥上下水道・電気・ガスの状況	<p>○島内の水道利用状況(普及率)は100%です。/ し尿処理は、約80%が水洗化、残りを計画収集にて対応しています。</p> <p>○ガスはプロパンです。</p> <p>○電気は、島内にある内燃機発電所を利用。</p>
⑦本土との交通手段(費用、時間、便数など)	<p>【航路】 フェリー又は高速船</p> <p>○フェリーを利用：フェリー「ニューこしき」で75分(1日2便)・大人2,300円(二等)。</p> <p>○高速船を利用：高速船「シーホーク」で50分(1日2便)・大人3,380円。</p>

<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p>【島内交通】 バス （上甕島側）里港から（1日8便） （下甕島側）長浜港から（1日8便） ※このほか島にタクシー会社、レンタカー会社がありますが、台数が少ないので、利用する場合は事前予約がおすすめです。</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 上甕島 里（スーパー・商店など8軒、食堂7軒） 上甕（スーパー・商店など4軒、食堂5軒） 下甕島 下甕（スーパー・商店など15軒、食堂17軒） 鹿島（スーパー・商店など5軒）あります。 【物価例】 2016年7月の価格 ガソリン（1L）155～160円 ※このほか、野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいます。／ 漁師と農家で、魚と野菜の物々交換などもよく行われており、近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けも多くなります。</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>平成26年度から平成28年度に甕島に転入した人数 ・里町109人、上甕町112人、下甕町328人、鹿島町66人</p>
<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>「甕島に移住したい」「甕島に帰ろう」とお考えの方々に対して民間所有の住宅等を「移住体験住宅」として、短期間実際に住んでいただき、甕島での暮らしを体験していただく制度があります。</p> <p>利用対象者：甕島への移住を真剣に考えている方 対象施設：下甕島手打1棟、上甕島里1棟 体験機関：1泊～30泊 利用料金：利用料は、人数に関係なく、利用期間に応じた料金になります。[光熱水費（電気代、ガス代、上下水道代）を含みます。]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1泊～13泊 1泊あたり2,000円 ・14泊以上27泊 26,000円（13泊分）＋【1泊あたり1,500円を加算】 ・28泊以上 47,000円（27泊分）＋【1泊あたり1,000円を加算】

<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<p>平成29年4月から平成32年3月末までの転入者を対象とした定住促進補助制度があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内業者を利用して、住宅を新築又は購入された転入者に150万円の補助があります。 ○市内業者を利用して、住宅をリフォームされた転入者に最大100万円の補助があります。 <p>島内を含め、市内に就職した若者に対する補助があります。(詳しい条件は市ホームページでご確認ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奨学金返還支援補助(返還額の半額を助成) ○新卒者等就労支援事業奨励金(10万円の助成) ○Uターン者就労環境支援事業補助金(家賃を12箇月助成)
<p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○のんびりと時間の流れる島ですが、相互扶助を大切にする島です。 ○全島でパチンコ2店、ゴルフ練習場1ヶ所等娯楽施設はほぼ無い島ですが、釣りはできます。 ○新聞は昼頃配られます。 ○コンビニはありません。 ○海上荒天で船の欠航が続くと、島内からパン、牛乳、豆腐が無くなります。 <p>でも、住めば都です。</p>